

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2000

文化通

秋

9月1日発行(季刊)

特集 財団の文化活動奨励事業を振り返る
好評連載「Oh! 茶Gai!」

九月から十一月までの茶華道・イベント情報を掲載



そっと、覗いて見ました。

讃岐円座の技法を探るべく、江戸時代の作品の編み目に千枚通しを差し入れた山崎一彦さん。すき間から見えたものは先人の確かなテクニック。円座の復活をとなえて四年目、途絶えた技法に光明が見えた。

中條財団は讃岐香川の様々な文化発展を応援します

財団の文化活動奨励事業を振り返る

今年度に実施される行事はすべからく『今世紀最後の』と冠が付く。中條文化振興財団は、平成五年十月一日に発足し、今世紀を振り返る程の歴史は持たないが、それでも今回決定した財団賞で既に八回目を数える。

財団は、「あなたが創る郷土文化、21世紀への“文化のかけ橋”」をスローガンに、故中條晴夫氏の強い意志で設立され、県内のかくれた文化的な発掘。今我々に残されている伝統文化の継承。あるいは新しく文化の発展を目指す若者達の育成等を目的として発足した。文化というのはスポーツと違つて成果のあがり具合を明確に出来ないあいまいさもあって、目的をどの程度達成できたのかは、もう少し時間を経ないと見えないかもしれない。とはいっても設立時の主旨を忘れる事なく引き継いでいく事で、良質の文化づくりに貢献し、心豊かな郷土づくりにお役に立てればと願うものである。

財団賞について

財団賞は芸術・創作・その他地域文化を奨励することを目的としたもので、主に文化振興のための活動や、文化の振興に特に寄与した者、または団体を奨励することを目的に奨励金を贈呈し表彰される。長年地道に努力され、一定の業績を残された方（団体）への表彰制度で、県内各市町の教育委員会（文化行政担当課）及び同文化協会・文化団体等々の推薦により、選考対象となる。

当財団の財団賞もようやく各方面に認知され始めたのか、皆様のおかげで年々選考候補が増え、今年度も十団体のご推薦を頂いた。ただこれまでの受賞

が芸能関係の復興・保存とか地域の祭りの復興等、無形文化財的な性格の候補が多くあつたためか、推薦内容が比較的同じパターンとなつていて非常に残念であり、選考に苦慮するところとなつていて。単純な書類選考に、取材を加えて、改めて財団賞の真価や責務を再認識することとなつた。

受賞の喜びを記念碑建立の形にして下さった方々、身体的都合で活動を既に後継者に託されていたのに受賞を機に学校を中心に継続的な後継者育成に力を注いでいる。高松市教育委員会文化振興課推薦。

「永井のデコ芝居」と呼ばれ、昭和三十七年に人形の頭が、県有形民族文化財に指定されたのを機に保存会を結成し、人形芝居の高度な技の再興に尽力され、その成果の公開活用にも熱心で、伝統芸能を通じて地域社会振興への貢献は大きい。また、平成元年より地元の中学校を中心に継続的な後継者育成に力を注いでいる。高松市教育委員会文化振興課推薦。

及び理事会が開催された。選考は選考基準の細則を加える等の検討も加えられ、かなりの時間を要することになったが、平成12年度の財団賞として以下の二団体に決定した。なお、受賞者は、十月二日に財団で行われる予定の贈呈式で財団賞（賞状）と奨励金二十万円が贈呈される。

●香翠座「人形芝居保存会（円座）」



●満濃町三島神社湯立神樂保存会

が三島神社の秋祭りの宵宮の行事として保存を続けている。祭りは、神楽と湯立、火渡りの神事から成る独特なもので、毎年十月十二日の夜に行われる。舞台となる大掛かりな湯棚作り等の準備から地域の住民の手作りで、宵宮本番は夜9時頃から翌未明まで。



助成金について

助成金は文化団体活動の育成を目的として制定された。従って助成対象となる文化団体は設立後五年未満の団体で年間を通じて主として県内で活動を続

け、将来的に香川県における文化発展の一翼を担うことが予想されるもの。ま

たは、現に長期間活動を続けていたる団体でも、新しい方向づけを目指そうとしているもの。あるいは、未分野の開拓に努めしようとしている団体に対し、事業費の一部を助成するものである。

助成対象事業に適合するための要件については省略するが、助成金の額は事業の経費総額から(1)人件費、(2)入場料、(3)国県市町等補助金等を控除した額の二分の一の金額で30万円を限度とするとなつていて、事業の内容にもよるが、五年を限度として連続での申請が可能で、団体活動の創成期を長期的にサポートする姿勢となつていているのが特徴である。

冬のまつりへ毎年参加公演している劇団「ピュージカル」をご存知の方は多いと思うが小学校のクラブ活動から劇団として独立して以来、財団の助成金も活用されて、短期間に大きく成長された。国民文化祭への参加や第三回宝塚ミュージカルコンクールの金賞受賞も果たされ、財団でも、その努力と成果を誇りに思つてくださいである。

また、オリジナルのミュージカル制作と福祉公演を続けている劇団「タイムス」、落語ペラの完成を目指す音楽集団「ちえちりあ」も活躍の場を確実に拡げ、大きく評価されている。

第七回助成金交付団体

●隅照会
(代表 荻田文昭氏)

劇団如月座「松ヶ枝町サーガ」の観音寺市民会館公演

財団賞の贈呈式に合わせて、既に決定している助成金交付団体への認定証贈呈も行なわれる。本年度は次の二団体となつた。

●ちえちりあ

(代表 稲富健一郎氏)

『イタリア歌曲と落語ペラの夕べ』

(七月十五日実施)

●アトリエS A S U

(代表 日下喜照氏)

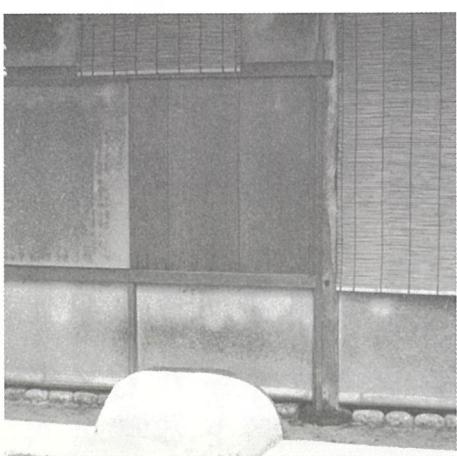
あ・うんの数寄講座(第二期)

また、平成十年度に新設された学術・文化振興特別助成金の交付団体として本年度は次の団体に助成金交付認定証を贈呈する。

草庵茶室における客の出入りであり、畳面から内法高さ約六十五センチ、幅六十センチを標準とする開口で、外側に付け鳴居、上框のない杉の板張り引き戸を入れ、鳴居溝一、八センチをすかして、ところどころに竹切子を挟んでいる。

美藻庵点描

一、躊 口



希に、当麻寺中の坊茶室のようない開き戸もある。「南方録」によると利休居士が大阪枚方の舟付の潜りを見て二畳の席に試みたのが始まりとされている。「潜り口」、「潜り」、古くは「躊り上り」ともいわれている。

今号より、草庵茶室の各部に目を向け、多少の蘊蓄を胸に一服のお茶を頂くのもひとつの茶の楽しみ方では…という観点から、「美藻庵点描」と題して、皆様の御意見、ご質問にも答えながら、長く掲載出来れば幸いである。

筆者

「お花」のイメージ

立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花。女性の美しさを花に例えた言葉はたくさんあります。大慈大悲の觀音さまの蓮華、清楚なマリアさまに白百合と尊さを象徴する花もあります。他にも情熱のカルメンは真っ赤なバラ、親指姫にはチューリップなど花に定着した女

ムの今日には嫌われそうです。
お互いの古来のイメージが否定されたり、覆されていきますと、褒め言葉が褒め言葉でなくなりそうです。

「お花」は女性ばかりとは限りません

会で、エルトン・ジョンは彼女を英国のバラと追慕しました。でも、花

が女性専門とは限りません。伊勢物語の主人公・在原業平に

かきつばた、花の下にて春死な

ぶんと残酷な結果に思えます。切られる花と残される花との差は何なんでしょう。今年、百五才のお誕生日を迎えた「花は友だち」とおっしゃる茶華道

の先生にお聞きしました。

西垣正信ギターリサイタル

第一・二部を通じてリュート組曲全曲を演奏して下さいます。音楽と共に、欧州のサロンコンサートを再現、休憩時や演奏後にワインやお茶等々数寄屋空間でお楽しみ頂く予定にいたしております。

第一・二部 平成十二年九月十五日(金)

第一部 午後二時～四時

第二部 午後四時～六時

中條文化振興財団 茶室 晴松庵

各三〇名

一日通券 五〇〇〇円

第一部 三〇〇〇円

第二部 三五〇〇円

行事予定(九月～十一月)

九月茶会

「あ・うんの数寄講座」連動茶会

とき

平成十二年九月二十四日(日)

席主 楽家十五代当主・樂美術館館長

一玄庵主 戸田博氏

場所 中條文化振興財団 晴松庵 美藻庵

内容 濃茶席・薄茶席・点心席

席料 二万三千円

定員 全七席各席二〇名

時間 第一席九時～一時間毎に七席

定員 各席二時間半の予定

西垣正信ギターリサイタル

第一・二部を通じてリュート組曲全曲を

演奏して下さいます。音楽と共に、欧州

のサロンコンサートを再現、休憩時や、

演奏後にワインやお茶等々数寄屋空間

でお楽しみ頂く予定にいたしております。

第一・二部 平成十二年九月十五日(金)

第一部 午後二時～四時

第二部 午後四時～六時

中條文化振興財団 茶室 晴松庵

各三〇名

一日通券 五〇〇〇円

第一部 三〇〇〇円

第二部 三五〇〇円

お茶の時間



「お花」を生けるって残酷そうですね

利休の朝顔の茶会で、茶室に生けた一輪の花を際立たせるために、庭の花を全部摘み取った話は有名ですが、演出とはいえ、摘まれた花にとつては必ず

ぶんと残酷な結果に思えます。切られる花と残される花との差は何なんでしょう。

う。今年、百五才のお誕生日を迎えた「花は友だち」とおっしゃる茶華道

の先生にお聞きしました。

「ひとつを生かすために、みんなが支える」。切られた花も、他を助ける

という立派な役をしています。切った花

一輪でも他の場所で生かせます。同じ

花器におさめなくとも、どこか適当な所

で生かせます。

それに、花で語れる人物とは何と素

睡蓮が思い起こされます。

任中は白牡丹、印象派のモネといえば

支える」。切られた花も、他を助ける

という立派な役をしています。切った花

一輪でも他の場所で生かせます。同じ

花器におさめなくとも、どこか適当な所

で生かせます。

敵なことかと、羨ましがることもありま

せん。文通の自己紹介で好きな色とか花の名を書いた覚えのあるあなた、あなた

人生も同じこと。誰でも、どこかで生かせる、適材適所ですね。人をたててあげ

て自分が後になる。それは、お茶の心も同じこと。客に喜んでもらえるように心

「お花」を語る

性のイメージがたくさんあります。

かつて、日本女性を「やまとなでし

こ」と美称し、今は禁句となりましたが

働く女性を「職場の花」といいました。

しかし今、町を厚底靴で闊歩するフリ

ーターのガングロギャルに、どんな花を

イメージすればよいのでしょうか。また、

唐の玄宗皇帝が牡丹の面影を重ねた楊

貴妃の豊満な美しさも、ダイエットブー

トで定着し、誰かの心に生き続いているかも知れません。

Oh! 茶Gai!

その⑤



ピアノに絵画、書道に硬筆、高校の時は家政部で料理を習い、大学の時は邦楽部で琴を弾いていたという松原加奈さん。（写真・左）茶道に興味を持ちだしたのは大学時代。友人が今の先生に習つていて、見学に行つたら「若い生徒さんが多く、先生も楽しそうな方だったので」通い始めたそうです。お茶を始めてよかつたことは「仕事や学生時代の知り合いとは違う年齢を超えた新しい出会いがあること」好奇心旺盛な彼女には新鮮な世界のようです。そして「礼儀作法を習うのにはやっぱりお茶を習うのが一番です」と言いながら「実は着物を着てみたかったから」とか。もともとイベント好きで、大学祭の実行委員だった彼女、お茶会の裏方でお手伝いをするのがとっても楽しいそうです。旅行が好きで、この間は金沢まで美味しい和菓子を食べに行ってきたという行動派の加奈さんですが「運動は苦手」だそうです。

喫茶居（五）

「七夕茶会」

年に一度、織り姫星と牛飼い星とのめぐり逢い。三木町池戸商店街の月遅れの七夕祭にあわせて、西徳寺で恒例の「七夕茶会」の席が設けられました。

境内の大きな銀杏の木で朝早くからセミが鳴き始めています。ついに水打ちされた本堂までの参道が待合で、木陰で一息入れて本席に通ります。盛夏の朝の茶会は、亭主も客も用意が大変なもの。一座の挨拶はお互いのご苦労をまず感謝して、七夕ならではの趣向の数々を楽しませて頂くことになりました。



祭りの笹飾りに、幼い心で願つて結んだ五色の短冊。茶会の券も五色刷りでしたが、誰にも覚えのある、あの日の可愛い願い事は叶つたでしょうか。

スダレ越しの朝日が風炉先屏風の金具に反射して、鈍く光った幻想的なお席でお薄を一服いただきました。

（右頁より続く）
を配る亭主と、亭主の心配りを感謝する客で一座が成り立ちます。盥（たらい）の水と同じですよ。水はかき寄せれば向こうへ行きますが、向こうへやると水は手元に集まります」。
「お花」の心を生活に
脇役や裏方があってこそ勤まる舞台のように、花を支える花があつての生け花でしょうか。花は誰も見ていない所でも無心に咲くとも言います。支えさせられることにこだわると、支える意義を見失いそうです。脇や裏が表舞台のウケをねらうと舞台は興ざめします。花は野にあるようにとの利休の教えは、生きるだけが花の使命ではないと精神に踏み込んだ言葉のような気がします。

花展で美を競う花も、野に咲く花も花とすれば、人を振り向かせるほどに美しい咲いてみたい女心も分からぬではありません。でも、人生には幸せな「花時」が必ずあるはずです。来るか来ないか分からぬ未来でなく、自分さえ気づかなかつた過去にあつたかも知れません。あれが「花」だつたと思う「時」が、誰にもあります。

六代宗詮襲名披露茶会	
とき	平成十二年十一月四日（土）
場所	美藻庵・晴松亭
内 容	濃茶席・薄茶席・点心席
席主	武者小路千家流木津徳至齋宗詮宗匠
定員	三好綾子先生
席料	全八席 各席十五名
宿料	一万二千円

【夜晴の茶事】

とき	平成十二年十一月四日（土）十七時
場所	美藻庵 晴松亭
席主	ト深庵木津徳至齋宗詮宗匠
定員	十二名
席料	三万五千円

【木津家由来】
木津家は、江戸時代松平不昧公の知遇を得て、その時代の武者小路千家八世一啜斎を紹介されました。以降代々家元に仕え、特に明治維新の時代には、平瀬露香と共に家元後見として活躍した家柄です。

すべて予約制（時間指定）となります
お申し込み、お問合せは、
当財団事務局まで
（087）826・3355

（右頁より続く）

炉開き、口切りと茶人にとっては、改また茶会が続きます。このめでたい月に本年二月齋号「徳至齋」を家元より授与され、三月には六代を襲名された武者小路千家家元教授ト深庵六代木津宗詮宗匠の襲名ご披露の祝いの釜を、美藻庵にても、懸けて頂く事になりました。香川官休会の三好綾子先生も、お祝いに薄茶席を担当して下さいます。現在では高松とのご縁が薄いので、「こんな席もあるのか？」と、参会の方が思つて下さるといかな」と宗匠らしいこだわりの席をお楽しみ下さい。

十一月茶会「祝いの釜」

茶華道ガイド

高松市茶華道協会

☎(087)831-6412

11/11・12 第27回高松市民文化祭茶会といけ花展
11日 三癸亭亮茶流
12日 茶道石州流琴松会
玉藻公園 9:00~ ●

栗林公園

☎(087)833-7411

9/10 栗林公園月釜 茶道裏千家淡交会高松支部 ●
10/8 ハ 武者小路千家香川官休会 ●
11/12 ハ 一茶庵流香川県支部 ●

玉藻公園管理事務所

☎(087)851-1521

9/8~10 表千家同門会香川県支部 茶会
10/15 石州流琴松会記念茶会
10/22 石州流茶道宗家石州会香川県支部
三市親善茶会（高松・水戸・彦根）
10/28・29 石州流茶道片桐宗閑公328年祭記念茶会
11/4・5 高松屋島ライオンズクラブ秋の茶会
11/25・26 香川大学表千家流茶会

武者小路千家香川官休会

☎(087)851-2258

9/3 9月月釜 席主：男子有志 本覚寺 ●
10/1 10月月釜 席主：真部佳子 ハ ●
11/5 11月月釜 席主：高沢瑠璃子 ハ ●

官休庵 佐々木社中

☎(087)821-8777

11/5 錦秋茶会 中條文化振興財団 9:00~ ●

金丸光洋

☎(0877)73-2226

9/10 琴平月釜会 煎茶静風流
松尾寺（琴平町）9:00~ ●
11/23 琴平町民文化祭協賛茶席
香川官休会 アクトことひら 9:00~ ●

淡交会高松支部

☎(087)831-0687

9/10 淡交会高松支部月釜 天神会館 9:00~ ●
10/1 淡交会高松支部月釜 天神会館 9:00~ ●
11/5 淡交会高松支部月釜 天神会館 9:00~ ●

尉小原流高松支部

☎(087)833-9274

10/22 (財)小原流高松支部いけ花パフォーマンス
瀬戸内海歴史民族資料館 10:00~ ■
11/26 (財)小原流高松支部創立40周年記念
特別講習会「玉藻よし・錦秋賀花」
県民ホール 13:00~ ●

安部流四国支部

☎(0877)86-3442

12/3 家元茶会 香煎・一服席・煎茶・点心
＊申込必要 玉藻公園被雲閣 9:00~ ●

町立塩江美術館

☎(087)893-1800

9/9 第4回 八兵衛茶会 15:00~ ●

イベントガイド

香川県文化会館 ☎(087) 831-1806

9/15~10/15 館蔵品による 香川の金工作家たち展 9:00~ ●
10/6~9 香川県華道選抜秀作展 6日のみ10:00 9:00~ ●
10/21~11/23 館蔵品による 角卓展 9:00~ ●
10/28~11/23 米寿記念 門脇俊一展 9:00~ ●

高松市美術館 ☎(087) 823-1730

9/22~10/22 ロバート・キャバ賞展 9:00~ ●
9/26 舞踏舍天鶴スペシャル「女中たち」19:00~ ●
11/2~12/3 英国アバディーン美術館所蔵
イギリス・フランス近代名画展 9:00~ ●

四国ガス生活館ピボット ☎(087)821-0248

9/未定 居酒屋クッキング（無国籍料理） 10:00~ ●
9/未定 クッション（だき人形）一日講習 10:00~ ●
季節の花をアレンジメント
9/5・10/3・11/7 10:00~ ●
手作りパン講習会
9/1.2・10/13.14・11/17.18 10:00~ ●
季節の材料を使い家庭で実践料理
9/12・10/10・11/14 10:00~ ●
イタリア料理家庭で出来るヘルシーな料理
9/27.28・10/25.26・11/22.23 10:00~ ●

香川県立図書館 ☎(087)868-0567

10/29 子ども読書年記念講演・対談 13:30~ ■
11/14~26 平和と寛容の国際絵本展 9:00~ ■

高松市立市民会館 ☎(087) 839-2888

9/27 Sadsコンサート 19:00~ ●
10/7 高松市教育文化祭音楽会（中学校）12:15~ ■
10/8 THE BOOMコンサート 17:30~ ●
10/12 高松市教育文化祭音楽会（小学校）13:00~ ■
10/22 現代舞踊研究会「土曜族」

ストーンミュージアム ☎(087)871-2200

9/23~10/15 井上麦個展 9:00~ ●
10/14 クラシックコンサート 「マリンバ・ホルンアンサンブル」 18:30~ ●
10/21~11/30 三枝惣太郎・優二人展 9:00~ ●

高松市教育委員会 ☎(087) 839-2636

10/1~11/26 第27回高松市民文化祭
10/5 玉藻城 薦能 玉藻公園 17:30~ ●
10/6 映画祭 市美術館 ●
11/18 劇団マグダレーナ演劇公演
高松市図書館 14:00~・18:30~ ●
11/23 劇団R & Cの語りと歌のファンタジー
高松市図書館 14:00~ ●
11/26 朗読劇「20世紀出会いの旅」昭和編
高松市図書館 13:30~ ●

玉藻公園管理事務所 ☎(087) 851-1521

9/17 囲碁・将棋まつり
9/23~11/12 植木市

石の民俗資料館 ☎(087) 845-8484

9/2~10 文化協会展 七宝・墨友会 9:00~ ■
9/9 〈アンサンブルぱぶり〉コンサート 19:00~ ●
9/16~24 文化協会展 皮工芸・水墨画 9:00~ ■
9/26~10/1 炎の舞 陶賀グループ展 9:00~ ■
10/14~29 石の里のアーチストたち 9:00~ ■

菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

9/2 文芸講座「野口雨情と高松小唄」 13:30~ ■
10/7 ハ 「イサム・ノグチの人間と美学」 13:30~ ■
11/4 ハ 「川柳の話あれこれ」 13:30~ ■
11/16 市制施行110周年記念
文藝春秋講演会 高松市民会館 18:00~ ★

高松テルサ ☎(087) 844-3511

10/7 桂文珍独演会 14:00~ ●
11/3~12 高松市・高松テルサ勤労者美術展 9:00~ ■
11/15 高松テルサ音楽祭 2000 13:00~ ■

志度音楽ホール ☎(087) 894-1000

9/10 志度東中吹奏楽部定期演奏会 15:30~ ■
9/12 松竹演劇公演「素敵に女ざかり」 18:30~ ●
9/23 第3回ふれあいコンサート&芸能大会 10:00~ ■
9/24 合唱団そらじど ふれあいコンサート 14:00~ ■
10/14 大川郡教育文化祭音楽祭（中学校）13:00~ ■
10/20~24 第3回ハイドンフェスティバル-IN・志度
10/27 志度東中学校校内合唱コンクール 9:30~ ■
10/28 津田中学校校内合唱コンクール 13:00~ ■
10/29 中島歌謡塾「歌と踊りの祭典」 9:30~ ■
11/4~5 アンサンブル大会
11/12 志度町民文化祭 9:30~ ■
11/14 大川第一中学校校内合唱コンクール
志度中学校校内合唱コンクール
11/15 第21回志度町福祉大会 ■

高松市図書館 ☎(087) 861-4501

9/9 郷土文化サロン 14:00~ ■
9/未定 サンクリスタルコンサート 18:00~ ■
11/上旬 本のリサイタル事業 9:30~ ■
11/5 児童文学講演会
講師：絵本作家 宮西達也 14:00~ ■
11/未定 サンクリスタルコンサート 18:00~ ■

四季ギャラリー ☎(087) 822-9010

9/1~30 絵手紙 展 7:30~ ■
10/1~31 森本耕造写真展 7:30~ ■
11/1~30 写団まんのう写真展 7:30~ ■

高松市歴史資料館 ☎(087) 861-4520

10/21~12/3 「斧葉江と名刀展（仮称）」 9:00~ ●

セントラルホールウイング ☎(087) 833-0005

10/8 第23回高校生の主張 13:00~ ■
10/28・29 「陶芸作品展」 10:00~ ■
11/3・4 「ジャズ公演」 3日 18:00~ ●
4日 16:00~ ●

「文化通心」第28号は12月1日発行です。

次の期間（12月1日から2月末日）の情報を11月5日までにお知らせ下さい。

TEL (087) 826-3355 FAX (087) 826-2212

イベントガイド

丸亀市教育委員会 ☎ (0877)24-8826

- 9/30～ 第47回丸亀市芸術祭主催展覧会
9/30～10/8 市立資料館 9:30～■
11/3～5 生涯学習センター 9:00～■
11/23 「民謡の祭典」市民会館 13:30～●
10/6 丸亀文化祭「市民音楽祭」
丸亀市民会館 12:50～■
11/19 丸亀文化祭
「子供の詩表形式&ジョイフルコンサート」
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 13:00～■
11/25～12/10 丸亀文化祭「藤本良和の世界」
城内其生広場資料館 9:30～■

丸亀市文化協会 ☎ (0877)24-8826

- 9/9 名作映画まつり「天国と地獄他3本」
生涯学習センター 10:30～●
11/3～5 芸能フェスタ丸亀 生涯学習センター 13:00～■

丸亀市民会館 ☎ (0877) 23-4141

- 9/9 天童よしみコンサート2000 14:00～・18:00～●
9/21 第25回丸亀老人演芸大会 12:00～■
9/30 小山実稚恵ピアノリサイタル 18:30～●
10/8 松方弘樹全国締結特別公演 13:00～・17:00～●
10/22 山川豊・田川寿美ジョイントコンサート
14:00～・18:00～●
10/26 第41回芸能大会 ■
11/26 中四国劍詩武道香川県大会 未定 ■

丸亀市立資料館 ☎ (0877) 22-5366

- 9/26 歴史講演会 生涯学習センター 14:00～■
10/17～11/12 塙飽の名宝展 丸亀市立資料館 9:30～■
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877) 24-7755
10/21～12/10 20世紀美術の形と動き展 10:00～●
11/18 フレデリック・ジェフスキ・コンサート 未定 ■

坂出市民ホール ☎ (0877) 45-1505

- 10/1～11/5 市民芸術祭
1日 民謡発表会 ■
15日 民謡・民謡発表会 ■
29日 三曲合同演奏会 ■
11/3日 吟劍詩舞発表会 ■
11/5日 洋楽発表会 ■
11/11 創作新舞踊発表会 ■
11/15 第20回私の考えを語る会 ■
11/18 子ども音楽広場 ■
11/26 AMUコンサート ●

観音寺市文化協会 ☎ (0875)23-3944

- 10/29～11/5 第50回市民文化祭 短歌会・作品展他
共同福祉施設他 9:00～■
11/5 調曲と舞囃子の会 観音寺市民会館 10:30～■
11/12 日本舞踊 観音寺市民会館 11:00～■
11/12 詩吟大会 共同福祉会館 9:00～■

観音寺市民会館 ☎ (0875)23-3939

- 10/22 アンサンブルフェスティバル'00 ■
11/2 三豊地区教育文化祭 音楽発表会 ■
11/10～12 第1回アトリエ・フルール合同作品展 ■
11/19 第4回観音寺市民音楽祭 ■
11/22・23 ソロブチミスト観音寺チャリティーバザー ■
11/23 角笛シリアルエット劇場公演 ■

善通寺市教育委員会 ☎ (0877)63-6328

- 10/9 N響トップメンバーによる金管五重奏
善通寺市民会館 14:00～●
10/21～29 大西忠夫展 善通寺市美術館 10:00～●
10/21 メモリアルコンサート 未定 ■
10/26 移動芸術祭「寄席芸能公演」
善通寺市民会館 17:30～●
10/28～11/5 第17回善通寺市民文化祭
演奏会・芸能祭・作品展 他 善通寺市民会館 他

善通寺市民会館 ☎ (0877)62-7001

- 9/10 善通寺市民カラオケ発表会 ■
10/1 コラール・ダコール ■
10/8 香田晋キャベーンコンサート ■
10/19 善通寺養護学校生徒と音楽の集い ■
10/22 善通寺空海まつりのど自慢予選大会 ■
11/8 香川県看護福祉専門学校文化祭 ■
11/25・26 国際ソロブチミスト ■

多度津町文化協会 ☎ (0877)33-0760

- 9/2 香川県まなびフェア 多度津町民会館 ■
9/12 第35回観月会（短歌・俳句・川柳）
多度津町総合福祉会館 17:50～■
11/3・4 多度津町第43回芸術展
総合福祉会館・中央公民 ■

宇多津町文化協会 ☎ (0877)49-8007

- 10/21・22 秋の文化祭（文化展・いけ花展）
宇多津町保健センター 9:00～■
11/4・5 秋の文化祭（芸能祭）
ユープラザうたづ 未定 ■

大野原町文化協会 ☎ (0875)54-4787

- 11/2～4 第32回大野原町文化展
大野原スポーツセンター・中央集会場 9:00～■

高瀬町教育委員会 ☎ (0875)73-3019

- 9/2・3 第6回高瀬町子ども芸術鑑賞会
2日 ニノ宮小学校 15:00～●
3日 高瀬町農村環境改善センター 9:30～●
11/4～5 高瀬町民文化祭2000
文化講演会・芸能発表会
高瀬町農村環境改善センター ■

仁尾町文化協会 ☎ (0875)82-2143

- 9/15～17 八朔人形まつり ■
10/14 観月茶会 仁尾町福祉会館 18:00～●
10/21 町民演芸の夕べ 仁尾勤労者体育センター 18:30～■
11/3・4 仁尾町総合文化展 仁尾勤労者体育センター 9:00～■

山本町教育委員会 ☎ (0875)63-1011

- 11/4・5 山本町文化展
山本町農村環境改善センター 9:00～■
11/12 生涯学習文化講演会
山本町農村環境改善センター 午後 ■

引田町教育委員会 ☎ (0879)33-2533

- 9/1～11/中 歴民企画展示「引田の100年」
△ 「県内高速発掘速報展」
引田歴史民族資料館 9:00～■
9/30～10/1 第38回東雲展 引田町民体育館 9:00～■

琴平町教育委員会 ☎ (0877)75-6716

- 9/22～ 第7回映画名作劇場
9/22 「あ・うん」 19:30～■
9/27 「夢千代日記」 10:00～・19:30～■
9/29 「檣山節考」 19:30～■
琴平文化会館 ■

仲南町教育委員会 ☎ (0877)77-2882

- 11/3 二宮忠八祭 二宮神社 9:30～■
11/12 町民ハイキング 9:00～●
11/18・19 仲南町文化祭 文化ホール 13:00～■

飯山町教育委員会 ☎ (0877)98-7961

- 11/3・4 生涯学習フェスティバル
飯山総合運動公園 8:30～■

飯山町文化協会 ☎ (0877)98-7961

- 9/4～16 書道展 飯山町役場 8:30～■
10/23～29 陶芸展 飯山町役場 8:30～■
11/13～26 書道展 飯山町役場 8:30～■

国分寺町教育委員会 ☎ (087)874-5805

- 9/9 国分寺町音の祭り 橋の丘総合運動公園 19:30～■
9/16 国分寺町生涯学習町民のつどい
勤労者体育センター 19:00～■

香川町教育委員会 ☎ (087)879-0231

- 9/10 ひょうげ祭り 浅野地区集落研修センター～新池 14:00～■
11/3～5 ふるさと香川フェスティバル2000 香川町総合体育馆 9:00～■

志度町教育委員会 ☎ (087)894-1541

- 10/20～24 ハイドンフェスティバル-IN・志度2000
志度町社会福祉センター 10:00～■

- 11/11～12 志度町文化祭 志度町社会福祉センター他 10:00～■

三木町教育委員会 ☎ (087)898-1111

- 10/28・29 第30回三木町文化祭 展示部門・芸能部門他
三木町文化交流プラザ 9:00～■
11/19 クリスマスハーモニー・オーケストラ(デリバリーアーツ)
三木町文化交流プラザ 13:00～■

長尾町教育委員会 ☎ (0879)52-2935

- 10/21・22 第35回長尾町文化祭 作品の展示
長尾小学校 9:00～■
10/8 あばれみこし 塙原稻荷神社 13:00～■
10/21・22 かぐや姫カーニバル ツインバル長尾・長尾小学校 ■

直島町文化協会 ☎ (087)892-2882

- 11/3・4 直島町教育文化祭 作品展示・茶席他
直島町西部公民館他 9:00～■

池田町教育委員会 ☎ (0879)75-0431

- 10/9 小豆島農村歌舞伎 池田町春日神社 18:00～■
10/16 小豆島の秋祭り 亀山八幡宮 1日中 ■

池田町文化協会 ☎ (0879)75-0431

- 10/28・29 池田町文化発表会 池田町イメージセンター ■

総合会館アリックス ☎ (0877)86-6800

- 9/9 松竹特別公演「素的に女ざかり」 14:00～●
10/29 子供フェスティバル 10:00～■
11/3・4 あやうたふるさとまつり ■
11/12 綾歌吹奏楽定期演奏会 13:30～●

灸まん美術館 ☎ (0877)75-3000

- 9/1～5 困魚洞と書の仲間達
広瀬三代 水彩画展 ■
9/15～19 妹背裕・武田新 二人展 ■
9/22～26 漆川玲子 墨彩画展 ■
9/29～10/3 象東吉院社中展 ■
10/6～10 下村宏 展 ■
10/13～17 アンフォルメ アートフラワー展 ■
10/20～24 こんびら写楽写真展 ■
10/27～31 山地裕之 木工展 ■
11/3～7 第7回 一穂窯作陶展 ■
11/10～14 彫刻・焼物・木工 三人展 ■
11/17～21 陶 中山俊樹展 ■
11/23～12/5 第10回チャリティ展 ■

西創 ☎ (0875)83-6821

- 9/12・13 お話の絵本（保育所・幼稚園） 9:00～■
9/15・16 △ (小学校児童) 9:00～■

絵と和紙とお香の店 美翠 ☎ (0877)23-6350

- 9/1～20 ウサギの器と布・和紙の小物展 10:00～■
9/23・24 短冊掛・色紙掛のカルチャ- *要予約 13:30～●
10/19～25 和紙作家 浅沼八重展 10:00～■

あーとらんど ギャラリー ☎ (0877)24-0927

- 9/9～10/1 横山善一・長尾武美・野村修三展 10:00～■
9/28～10/11 森山かすり工房 森山哲浩展 10:00～■
10/7～29 中山ダイスケ 展 10:00～■
10/14～31 沖 康史 作陶展 10:00～■
11/4～26 関 正和 展 10:00～■
11/10～26 横 憲良 木工展 10:00～■

ギャラリーアコスタージュ ☎ (087)841-8200

- 9/7～25 かっぷ・コップ・器展
9/28～10/16 川島 猛展
10/19～11/6 錢谷嘉康展
11/9～27 北古味可葉展
11/30～12/11 企画展 ■

とらまる座 ☎ (0879)25-0400

- 9/8～10 レクリエーションと人形劇のカーニバル ●
9/23～24 すいつこかもものこたろう ●
10/11～15 ぶんぶくちゃんがま 笠地蔵 ●
10/18～22 まいごのまめのつる ●
10/25～29 えん・えん・えへん他 ●
10/31～11/1 ワンダフルおばさんとゆかいなかまたち ●
11/2～5 夢みるコッちゃん ●
11/11・12 どんぐりの木 ●

学術文化振興特別助成金事業決定

企画監修 齋藤 裕 / スタジオカズネ

「あ・うんの数寄講座」

日本文化のエッセンスを探る連続セミナー

「あ・うんの数寄講座」は、このたびおかげさまをもちまして第二期目を迎えることになりました。この連続講座は、茶の湯という日本独自の文化を切り口として、私たちがこの風土の中で創りだし、つちかってきた美意識とはどういうものなのか、それをいかして人と共有し、語りあい、また後の世代に伝えていけばよいのだろうかということを根本のテーマにして行っているものです。

■第一回
平成十二年九月二三日土 午後一時
(午後一時三十分開場)

【樂茶碗の世界】

長次郎から受け継ぐこと、いま私が創ること

講師 / 樂吉左衛門

(樂家第十五代当主・樂美術館館長・陶芸家)

会場 / 香川県県民ホール・アクトホール
平成十二年十月三日火 午後六時三十分
(午後六時開場)

■第二回

花でもてなす茶の湯

花と心を通わし、人と時を重ねる

講師 / 小堀宗慶

(遠州茶道宗家 第十二世家元)

会場 / 香川県県民ホール・アクトホール
平成十二年十一月十八日土 午後二時
(午後一時三十分開場)

■第三回

日本建築の真・行・草
茶室の格と見どころを読み解く

講師 / 齋藤 裕 (建築家)

会場 / 香川県県民ホール・アクトホール
平成十二年十一月十八日土 午後二時
(午後一時三十分開場)



齋藤 裕



林屋晴三



小堀宗慶



樂吉左衛門

- 主催: アトリエSASU
- 後援: 香川県教育委員会、高松市教育委員会、高松市文化協会、NHK高松放送局、KSB瀬戸内海放送、四国新聞社、西日本放送、読売新聞高松総局

順不同

表紙の人

高松市円座町 山崎一彦さん

腰掛待合のひとときには、茶会への期待と緊張がみなぎり、また、連客とのなごやかさが溶けあうもの。亭主の気遣いは清めた路地、くつろぎの煙草盆、そして、座り、心地のよい円座。

萱を乾燥させて編んだ円座は、かつて貴族や武士の館で、着座の折に使った実用の敷物でした。それを小振りにして待合の腰掛に並べ茶用としました。ところが、近年は、茶道具店でも昔通りの円座

はなかなか手に入りません。

讃岐円座は奈良時代から朝廷への献上

品として名高く、江戸時代には藩の保護を受け、作り方も一子相伝の秘法とされました。しかし、年月が過ぎるうちに技法の継承が途絶え、町名の由来である円座も過去のものとなりました。それが最近になつて、山崎さんたちのご苦労で、地域おこし事業として公民館で円座作りの講習が始まりました。

ボランティアで作り方の指導をする山崎さんは、ただひとつ残っていた江戸時代の講習が始まりました。

「作品の出来栄えはまだまだですが、精進を重ねて、名人に倣いたいと思います」。謙虚な山崎さんが目を輝かして語つてくれました。

円座を作業の先生とし、技術の師頼つて独学を続けました。文字通りの手探りで、分解したり傷つけたりできない文化財に、細い千枚通しの錐先を差し込んで中を覗いて見たといいます。先人の英知が偲ばれる確かに仕事の跡に山崎さんの工夫が重なり、昔通りの菊花型の円座が完成しました。

彼女が今回、何を思い残して去つたかは知る人も無いが、この世に残された元気の種は彼女を知るひとりひとりの中に、きっと生きていると信じている。

合掌

〔声・情報お寄せください〕

〒760-0017 高松市番町二丁目一一一二

財中條文化振興財団編集部

TEL(087)826-3355
FAX(087)826-2212

編集後記

前号が完成後まもなくして、当財団の事務局長であり、また本紙の編集長でもあった長江博子さんが亡くなつた。享年四九才。

告別式で共にくやしい思いを分かち合つた大勢の弔問客、その多彩さに我々は、またひとつ香川の元気を失なつたことを再認識した。常に自分の足元を固める事を気にしつつ、元気のない人をみると一生懸命話を聞き、豪快に笑い飛ばしてはげましてくれた。

財団の事務局はいつも笑いが溢れ、客足が跡絶えることがなかつたという印象が強く残つてゐる。文化は人。ひとりでがんばつてゐる人と人とを結ぶかけ橋のようになりたいと常に語つていた。言葉の通り困つてゐる人を見捨てられないちょっと損な役回りかもしれないが、彼女に元気付けられた人はたくさんいるはずだ。

タテ社会の行きづまりをヨコ糸をたくさんかけることで大きく広げる発想だつたようだ。しかし、年月が過ぎるうちに立ち塞がる障害をなんとかして乗り越えていこうとする凝りないサーファーのようでもあつた。

彼女が今回、何を思い残して去つたかは知る人も無いが、この世に残された元気の種は彼女を知るひとりひとりの中に、きっと生きていると信じている。

萱を乾燥させて編んだ円座は、かつて貴族や武士の館で、着座の折に使つた実用の敷物でした。それを小振りにして待合の腰掛に並べ茶用としました。ところが、近年は、茶道具店でも昔通りの円座

はなかなか手に入りません。

讃岐円座は奈良時代から朝廷への献上品として名高く、江戸時代には藩の保護を受け、作り方も一子相伝の秘法とされました。しかし、年月が過ぎるうちに技法の継承が途絶え、町名の由来である円座も過去のものとなりました。それが最近になつて、山崎さんたちのご苦労で、地域おこし事業として公民館で円座作りの講習が始まりました。

ボランティアで作り方の指導をする山崎さんは、ただひとつ残っていた江戸時代の講習が始まりました。

「作品の出来栄えはまだまだですが、精進を重ねて、名人に倣いたいと思います」。謙虚な山崎さんが目を輝かして語つてくれました。

円座を作業の先生とし、技術の師頼つて独学を続けました。文字通りの手探りで、分解したり傷つけたりできない文化財に、細い千枚通しの錐先を差し込んで中を覗いて見たといいます。先人の英知が偲ばれる確かに仕事の跡に山崎さんの工夫が重なり、昔通りの菊花型の円座が完成しました。

彼女が今回、何を思い残して去つたかは知る人も無いが、この世に残された元気の種は彼女を知るひとりひとりの中に、きっと生きていると信じている。

合掌